

植	物
防	疫
講	座

虫害編-17

斑点米カメムシ類の生態と防除-2

—ホソハリカメムシ, クモヘリカメムシ, ミナミアオカメムシ,
イネカメムシ—

龍谷大学 農学部 **樋口 博也**

はじめに

斑点米カメムシ類とは、イネが出穂すると穂から吸汁し、玄米の一部が褐変あるいは黒変した斑点米を生じさせるカメムシの総称である。斑点米被害を引き起こすカメムシ類は7科36種にもものぼるが(中筋, 1973), 重要種は10数種であり(岩田・葭原, 1976), 地域により異なっている。岐阜県の中山間地域では、ホソハリカメムシ *Cletus punctiger*, クモヘリカメムシ *Leptocorisa chinensis*, トゲシラホシカメムシ *Eysarcoris aeneus*, アカヒメヘリカメムシ *Rhopalus maculatus* (藤田ら, 1996), 平坦地では、ホソハリカメムシ, アカスジカスミカメ *Stenotus rubrovittatus* が斑点米の発生に参与している(杖田ら, 2002)。滋賀県では、ホソハリカメムシ, クモヘリカメムシ, トゲシラホシカメムシ, アカスジカスミカメ(寺本, 2003 a), 三重県では、ホソハリカメムシ, クモヘリカメムシ, シラホシカメムシ *Eysarcoris ventralis* が優占種である(北上・西野, 2003)。

ここでは、ホソハリカメムシ(図-1)とクモヘリカメムシ(図-2), 近年発生が増加傾向にあるイネカメムシ(図-3), 分布域が北進しているミナミアオカメムシについて、発生生態と防除方法について紹介する。

I 発生生態

1 ホソハリカメムシ, クモヘリカメムシ

ホソハリカメムシ, クモヘリカメムシともに成虫で越冬する。ホソハリカメムシは、イネ科植物の枯れた場所, 乾燥した落葉中で越冬する(北見ら, 1976)。クモヘリカメムシは、越冬中においても植物組織を吸汁するため, 緑色植物上やシダ類の上(北見ら, 1976), 湿度が高く吸汁が可能なスギ, ヒノキの樹木枝葉や樹冠で越冬する(崎村・永井, 1976)。

Ecology and Management of Rice Bugs Causing Pecky Rice.
By Hiroya HIGUCHI

(キーワード: 斑点米, ホソハリカメムシ, クモヘリカメムシ,
ミナミアオカメムシ, イネカメムシ, 生態, 防除)



図-1 ホソハリカメムシ成虫



図-2 クモヘリカメムシ成虫



図-3 イネカメムシ成虫